万博記念公園

開園時間:9時30分～17時(入園16時30分まで)
休園日:水曜日(水曜が祝日の場合は翌日)・年末年始　但し4月1日～ゴールデンウィーク・10月～11月は無休
問い合わせ:万博記念公園コールセンター　06-6877-7387　ナビダイヤル(0570-01-1970)

1 自然文化園・日本庭園

自然文化園では、太陽の塔やイサム・ノグチの噴水彫刻などの大阪万博の遺産、四季折々の花々と自然豊かな森などが広がるほか、日本の造園技術の粋を集めて造られた日本庭園など、子どもから大人まで楽しめます。
料金:大人260円、小中学生80円(自然文化園・日本庭園共通)

写真提供:大阪府

2 国立民族学博物館

大学共同利用機関として創設された博物館機能をもつ研究所です。本館展示は、世界を9つの地域に分けた地域展示と、音楽や言語などの通文化展示で構成されており、オセアニアを出発して世界を東回りに一周し、最後に日本に戻る順路で世界の様々な文化や人びとの暮らしに触れることができます。
開館時間:10時～17時(入館は16時30分まで)
休館日:水曜日(水曜日が祝日の場合は直後の平日)
　　年末年始(12月28日～1月4日)
料　金:一般780円、大学生340円、高校生以下無料
　　(特別展の観覧料は、その都度別に定めます。)
問い合わせ:06-6876-2151

3 大阪日本民芸館

大阪万博のパビリオンとして建設され、大阪万博閉幕後「日本の民芸運動」の西の拠点展示館として開館しました。春と秋に特別展が開催されます。
開館時間:10時～17時(入館は16時30分まで)
休館日:毎週水曜日・年末年始・夏期・冬期休館あり
料　金:一般710円、高大生450円、小中生100円
　　ミュージアムショップは無料
問い合わせ:06-6877-1971

4 EXPO70 パビリオン

大阪万博の偉業を後世に伝えていくために、鉄鋼館を利用し大阪万博の記念館として開館しました。現存する貴重な資料・寄贈品を展示するほか、時空を超えて当時の模様を映像などで再現しています。
　2023年8月、別館を増設し、大阪万博開催時に太陽の塔の頂部に設置されていた「黄金の顔」などを展示しています。
開館時間:10時～17時(入館は16時30分まで)
料　金:高校生以上500円、中学生以下無料
　　(別途、自然文化園入園料が必要。特別展等開催中は別料金)

写真提供:大阪府

5 太陽の塔

芸術家岡本太郎がデザインし、大阪万博のテーマ館の一部として建てられた太陽の塔。2018年3月に内部を一般公開し、生命の進化の過程を表現した「生命の樹」や復元した「地底の太陽」など、大阪万博の熱気が感じられる展示が広がります。
料金:大人720円、小中学生310円(別途自然文化園入園料が必要)※事前予約制(当日、空きがある場合は当日券販売あり)

写真提供:大阪府

写真提供:大阪府

6 EXPOCITY

大阪の中心部からほど近い大阪モノレール「万博記念公園駅」前の敷地面積約172,000㎡に広がる、複数の大型エンターテインメント施設と約300店舗の「ららぽーとEXPOCITY」からなる、エンターテインメントとショッピングが融合した大型複合施設です。

7 OSAKA WHEEL (オオサカホイール)

高さ123mで日本一の大観覧車。全ゴンドラ足元シースルーで冷暖房も完備。昼は爽快な絶景、夜は煌めく夜景を一望いただけます。
　ここでしか味わえない空の旅をご体験ください。
料金:1,000円/名 (0～3歳:無料)
問い合わせ先:06-6170-3246(10:00～18:00)

ガンバ大阪
「吹田市ご当地モフレム」

8 NIFREL

ニフレルは、海遊館プロデュースの新感覚ミュージアムです。生きものの鮮やかな色彩や特徴的な技など多様な個性をテーマに、「いろ」や「わざ」など全7エリアで展示がされています。生きものだけでなく、照明・音楽・映像が融合した、感性にふれる、様々なコンテンツをご堪能ください。
営業時間:通常期10:00～18:00
料金:大人2,200円
詳しくはHPをご覧ください。

吹田市イメージキャラクター
すいたん

吹田くわいが見られる所

- ⓐ 千里北公園
- ⓑ 自然体験交流センター(わくわくの郷)
- ⓒ 千里南公園
- ⓓ 垂水上池公園
- ⓔ 吹田市立博物館
- ⓕ 平野ファーム吹田くわい畑
- ⓖ 江坂公園
- ⓗ 片山公園
- ⓘ 吹田市役所

27 三色彩道(さんしきさいどう)

タイワンフウ、トウカエデなどの街路樹が立ち並ぶ並木道です。春の新緑、秋の黄葉、初冬の深紅と季節ごとに美しい情景が見られ、特に紅葉の最盛期には大勢の方が見物に来られます。

26 佐井寺(さいでら)

寺伝によると創建は行基で、境内は広く七堂伽藍と六坊を構えていました。現在の本堂は昭和期に改築されたものです。境内の釣鐘は京都所司代板倉重宗が1649(慶安2)年に寄進したもので、竜頭からの水は吹田三名水のひとつ「佐井の清水」から引かれていますが、現在、水は出ていません。

25 千里寺(せんりじ)

本堂は、昭和天皇大嘗祭に際し、賓客をもてなす会場として京都御所に建てられた建物です。関西大学での講堂・武道館としての使用を経て1953(昭和28)年に現在地に移築されました。
　内部の天井やシャンデリアに当時の格式が見られます。(国登録有形文化財)

24 垂水神社(たるみ)

飛鳥時代、早魃に苦しむ孝徳天皇の難波宮に当地の水を懸樋を通して送った功により、垂水神社の名前を賜りました。万葉集の志貴皇子の「いわばしる 垂水の上のさわらびの 萌え出ずる春になりにけるかも」の歌碑があり、垂水の滝は現存する唯一の吹田三名水です。鎮守の森は広大で上空から見ると住宅地に浮かぶ島のようです。

23 大阪ハリストス正教会

尖塔の鐘楼と玉ねぎ型のビザンチン様式の塔が独特の景観をなしています。
　当教会は大阪市内で戦災に遭い、1962(昭和37)年に現在地に再建されました。

21 吹田市立健都ライブラリー

吹田操車場跡地に建つ図書館には2008年にさよなら運転を行った0系新幹線の先頭車両が展示されています。車内には当時の写真展示も。館内には建設時に発掘された旧石器時代からの本物の土器も展示されていて、一見の価値あり。
開館時間:10時～18時　木・金は20時まで
休館日:毎月最終木曜日、年末年始
問い合わせ:06-6388-3800

江坂エリアの宿泊施設

※詳しくは、最終面の市内宿泊施設でご確認ください。

20 メイシアター(吹田市文化会館)

文化・芸術の発信地で、優れた舞台芸術を身近に鑑賞でき、また、多くの市民が集い気軽に文化に親しめる施設です。
　立体的な植栽と建物も吹田が誇る施設の一つです。地域創造大賞(総務大臣賞)、大阪都市景観建築賞大阪府知事賞、大阪施設緑化賞最優秀賞を受賞しています。
問い合わせ:06-6380-2221

22 アメニティ江坂

白い彫刻が鮮やかな緑に調和する庭「リーニュ・ブランシュの庭」や近現代の彫刻を集めた美術館、レンガ造りの紡績工場を甦らせたおしゃれな中国料理店、各種スポーツ(ゴルフ・テニス)施設も揃う、まさにくつろぎの空間といえます。吹田市都市景観賞も受賞しています。

19 ダスキンミュージアム

掃除にまつわる歴史・文化・道具の変遷を紹介する「おそうじ館」では、日常掃除のポイントを楽しく学べます。また、ミスタードーナツのこれまでの歩みやその美味しさの秘密を紹介する「ミスドミュージアム」では、ドーナツ作り体験や予約不要のドーナツポールトッピング体験が楽しめます。
　ドーナツ手づくり体験はHPからの事前申し込みによる抽選制です。
開館時間:10時～16時
休館日:月曜日、お盆期間、年末年始(月曜日が祝日の場合は翌日休館)
問い合わせ:06-6821-5000

16 浜屋敷(吹田歴史文化まちづくりセンター)

江戸時代旗本柘植氏領の庄屋屋敷の寄贈を受けた吹田市が、2003(平成15)年に改装、整備しました。まちづくりに関する市民の文化活動と交流の場となっています。地域のまちづくり拠点施設としての活動は、「手づくり郷土賞」「ゆめづくりまちづくり賞」を受賞しています。
見学無料　催物・貸し会場は有料
開館時間:9時～22時
休館日:年末年始(臨時休業あり)
問い合わせ:06-4860-9731

15 高浜神社

奈良時代に吹田の大宮として記録され、今も市内中心部に位置して参拝者の多い神社です。現在の本殿は、1693(元禄6)年に再建されたものです。このあたりが古来白砂青松の地であった名残の古株が、神木「鶴の松」として保存されています。

18 泉殿宮(いずどのぐう)

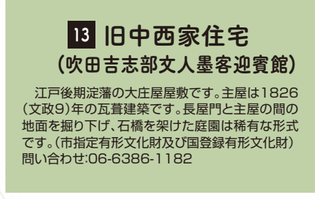
現本殿は三間社流造で、建築様式から1657(明暦3)年頃のものとみられます。
　869年に泉が湧き出し、枯渇に苦しむ里人を救いアサヒビール(株)誕生の決め手となった吹田三名水の ひとつ「泉殿霊泉」が本殿左側に。1970年大阪万博開催に際し当宮宮司が斎主を御奉仕した立柱祭元柱(もとつはしら)が本殿右側にあります。

17 アサヒビールミュージアム

1891(明治24)年吹田村醸造所が竣工し、翌年5月「アサヒビール」が発売されました。現在のビール業界を代表するアサヒビール㈱の発祥の地といえます。約130年の歴史を持つ工場として、歴史的資料とともに、鮮度を追求する今のビールづくりを見学できます。
ツアーは要予約　ツアー時間:10時～15時
ツアー参加費:20歳以上1,000円小学生以上300円
問い合わせ:06-6388-1943

13 旧中西家住宅(吹田吉志部文人墨客迎賓館)

江戸後期淀藩の大庄屋屋敷です。主屋は1826(文政9)年の瓦葺建築です。長屋門と主屋の間の地面を掘り下げ、石橋を架けた庭園は稀有な形式です。(市指定有形文化財及び国登録有形文化財)
問い合わせ:06-6386-1182



14 旧西尾家住宅(吹田文化創造交流館)

江戸時代の仙洞御料庄屋を務めた旧家です。
　茶道藪内家茶室の写し積翠庵や主屋、庭園、関西建築界の第一人者武田五一設計の離れなど、歴史、文化、格式のある近代和風建築として高く評価されています。天逝の天才音楽家貴志康一の生家です。(国指定重要文化財)
問い合わせ:06-6381-0001

10 山田伊射奈岐神社(いざなぎ)

平安時代の延喜式に記載された由緒ある神社です。現在の本殿は元禄年間(1688～1703)に建てられた桧皮葺、五間社流れ造りで、大阪府指定有形文化財です。駐車場もあり、よく整備された境内は多くの参拝者が訪れています。

11 吉志部神社(きしべ)

社殿によると崇神天皇の御代に吉志一族の守神としてお祀りされたのが始まりと伝えられています。いくどか焼失の後、1610(慶長15)年に再建された社殿は華麗な桃山様式のもので国の重要文化財の指定を受けていましたが、2008(平成20)年に再び焼失し、2011(平成23)年に元の彩色豊かな社殿が再建されました。

12 吹田市立博物館

吹田市内で発掘された古代の須恵器や瓦の窯跡を原寸大に再現した展示等、吹田の歴史を時代順に学べます。
開館時間:9時30分～17時15分
休館日:月曜日、祝日の翌日、年末年始
観覧料:一般200円　高大生100円
　　小中生50円
問い合わせ:06-6338-5500